

## 特別セッション「リモートセンシング法の現状」

- 開催日時：平成 27 年 6 月 3 日(水) 10:30-12:00
- 開催場所：千葉大学けやき会館 A 会場:1 階大ホール
- セッションへの参加について：本特別セッションは一般公開とします。日本リモートセンシング学会会員以外の方でも無料でご参加いただけます。会場受付でその旨お申し出ください。

### 【趣旨】

本年 1 月に決定された新たな宇宙基本計画において、民間事業者による宇宙活動を支えるための「宇宙活動法案」及び「リモートセンシング衛星を活用した民間事業者の事業を推進するために必要となる制度的担保を図るための新たな法案」を平成 28 年の通常国会に提出することを目指すことが示され、現在、宇宙政策委員会において検討が進められています。

当学会では、第 55 回学術講演会(平成 25 年 11 月)において特別セッション「地球観測衛星データに関する日本のデータポリシー」を開催し、データポリシーのあり方について学会員からの意見、提案等を集約してきたところですが、国においては、上述のように法制度の整備という新たな段階に移行しています。上記 2 法案はリモートセンシングの研究、開発、事業を行う当学会会員の活動にも大きな影響を与えますが、宇宙活動あるいはリモートセンシングと法制の関わりについて学会会員の間でも十分な理解があるとは言えません。そこで、本特別セッションでは宇宙法制に関する国内外の状況を確認するとともに、TF リモートセンシングコミュニティ有志での検討状況等を提示し、今後の学会での意見集約に向けてその基盤となる共通認識を形成することを目的としています。関係の皆様のご参加をお待ちしています。

### 【プログラム】〈敬称略〉

司会：福田徹(RESTEC)

10:30-10:45 宇宙法制の検討状況(仮題) 末富理栄(内閣府宇宙戦略室)

10:45-11:15 宇宙法について(仮題) 佐藤雅彦(JAXA 研究開発部門)

11:15-11:30 TF リモートセンシングコミュニティの立場から(仮題) 安岡善文  
(TF リモートセンシングコミュニティ代表幹事)

11:30-11:45 地球観測技術の最新動向(仮題) 福田徹(RESTEC)

11:45-12:00 質疑応答